2026 年 11 月 10 日
TDSE 株式会社
（証券コード：7046 東証グロース）

# TDSE、LangGenius と共催でウェビナー開催

## 企業はなぜ Dify を選ぶのか？ オンプレミス活用とシステム連携の実践

社内データを守りながら、既存システムと連携して生成 AI を本番運用するポイントを解説

TDSE 株式会社（東京都新宿区、代表取締役社長：東垣直樹）は、AI エージェントプラットフォーム「Dify」を開発・提供する株式会社 LangGenius, Inc.（米国デラウェア州法人、カリフォルニア州拠点）の日本法人である**株式会社 LangGenius（東京都中央区、代表取締役社長：渡辺元、以下「LangGenius」）と共催で、2026 年 11 月 13 日（金）にオンラインウェビナー「企業はなぜ Dify を選ぶのか？ オンプレミス活用とシステム連携の実践」を開催いたします**。

企業における生成 AI 活用は、検証段階から業務への本格実装へと移行しており、業務アプリケーションや AI エージェントを迅速に構築・運用できる基盤への需要が高まっています。こうした環境のもと、TDSE は、国内初の「Dify」公式販売・開発パートナーとして、Dify Enterprise ライセンスにおいて国内トップクラスの販売実績を有しており、売上は好調に推移しています。また、ライセンス提供にとどまらず、要件定義、AI エージェント開発、既存システム連携、RAG の設計・精度改善、運用・内製化支援までを一気通貫で提供しています。

今回、開発元である LangGenius と共催し、企業が Dify を選ぶ理由と、実運用に向けた具体的な進め方をお伝えするウェビナーを開催いたします。本イベントを通じて、Dify を軸とした生成 AI エージェント領域における認知向上と新規顧客との接点拡大を図り、企業の本番運用や横断的な展開を支える実装力と支援体制を広く発信してまいります。

### 1、ウェビナーの内容と狙い

本ウェビナーでは、データ管理やシステム連携上の課題を抱える企業に対し、生成 AI の PoC から実業務への移行と社内展開に向けた具体的な検討を促すことを狙いとしています。オンプレミス・閉域環境への対応、既存システムとの連携、本番運用に必要な構成について、企業の活用事例とともに、以下の論点を解説します。

・導入環境：Dify をオンプレミス・閉域環境で活用する際の構成と留意点
・システム連携：既存システムや業務ツールとの連携を通じた、社内での AI 活用拡大の考え方
・本番運用：PoC から実業務への移行を見据えた、生成 AI の本番運用に必要な構成
・活用事例：企業における具体的な活用事例の紹介

### 2、想定する参加対象と導入・運用課題

・機密情報・社内データの外部送信に制約があり、生成 AI の導入・活用に課題を抱える企業
・オンプレミス・閉域環境での Dify 導入を検討する企業の情報システム部門

・既存システムや業務ツールとの連携を通じて、AI の業務適用を推進する部門
・生成 AI の PoC を実施し、本番運用への移行に課題を抱える企業・部門
・全社的な AI 活用や DX 推進を担い、社内展開を検討する責任者・担当部門

## 3、開催概要

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| **ウェビナー名** | 企業はなぜ Dify を選ぶのか？ オンプレミス活用とシステム連携の実践 |
| **日時** | 2026 年 11 月 13 日（金）14:00～15:00 |
| **形式** | オンライン |
| **参加費** | 無料 |
| **共催** | TDSE 株式会社／株式会社 LangGenius |
| **参加登録** | https://luma.com/w08axrao |

## 4、今後の展開

TDSE は、本カンファレンスで得られる顧客接点を具体的な案件創出につなげ、Dify Enterprise ライセンスの提供から開発・運用支援まで、事業機会の拡大を進めてまいります。また、今回のイベントに限らず、今後の講演や顧客事例等を通じて得られる導入プロセス、成果、今後の展開についても、顧客企業の了承を得たうえで、他社の生成 AI 活用の参考となる内容を継続的に開示してまいります。こうした取り組みを通じて、新中期経営計画「SHIFT2028」で掲げる生成 AI エージェント領域へのシフトとストック型収益基盤の強化を推進し、中長期的な企業価値向上につなげます。

## ■ LangGenius グループ 概要

| | |
|---|---|
| **本体** | LangGenius, Inc.（米国デラウェア州法人、カリフォルニア州拠点） |
| 設立・拠点 | 2023 年設立、米国カリフォルニア州に拠点 |
| 経営陣 | 創業者兼 CEO　Luyu Zhang |
| 本体の役割 | AI アプリケーション開発基盤「Dify」の開発・グローバル展開 |
| **日本法人** | 株式会社 LangGenius（2025 年 2 月設立） |
| 役割 | 日本における Dify Enterprise ライセンスの開発、提供、販売、パートナー展開 |
| 所在地 | 東京都中央区日本橋 3 丁目 6 番 2 号 日本橋フロント |
| 代表者 | 代表取締役社長 渡辺元 |
| Web サイト | https://langgenius.co.jp/ |

## ■ 「Dify」について

「Dify」は、生成 AI を活用した業務アプリケーション・AI エージェントをノーコード／ローコードで構築できるプラットフォームです。企業内ナレッジ活用・業務効率化・意思決定支援など幅広い用途に対応し、エンタープライズ向けの拡張性と管理機能を兼ね備えています。TDSE は国内初の公式販売・開発パートナーとして、Dify の国内普及を主導しています。

サービスサイト：https://dify.tdse.jp/

**2026 年度に入り、新たに始動させた Dify 関連取組**

新ライセンス「Essential」「Standard」提供開始（2026 年 6 月 12 日付・PDF）

生成 AI プラットフォーム『Dify』の特約店募集開始（2026 年 6 月 8 日付・PDF）

KDDI Digital Life 社の「povo2.0」に「Dify」を導入（2026 年 8 月 5 日付・PDF）

## ■ TDSE 株式会社 概要

| | |
|---|---|
| 所在地 | 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー27 階 |
| 代表者 | 代表取締役社長 東垣直樹 |
| 設立 | 2013 年 10 月 17 日 |
| 資本金 | 8 億 3,318 万円 |
| 役職員数 | 193 名（2026 年 10 月 1 日現在） |
| 事業内容 | データ経営を目指す企業向けに AI 技術を中心とした統合型ソリューションを提供 |
| 上場市場 | 東証グロース（証券コード：7046） |
| ホームページ | https://www.tdse.jp/ |

## ■ 本件に関するお問い合わせ

【ビジネス・サービスに関するお問い合わせ】

TDSE 株式会社　担当：山本　E-mail：agent@tdse.jp

お問い合わせフォーム：https://dify.tdse.jp/contact/

【報道機関・投資家からのお問い合わせ】

E-mail：Investors@tdse.jp